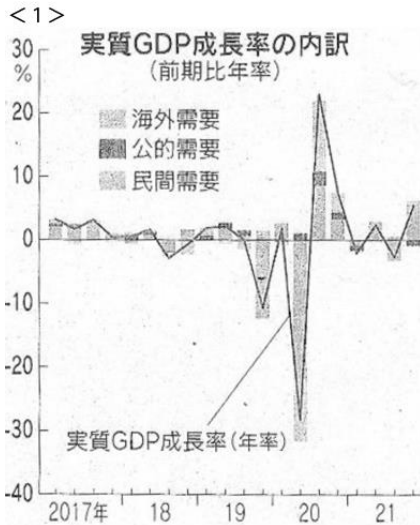


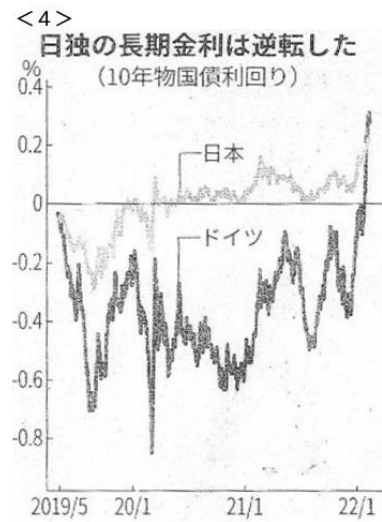
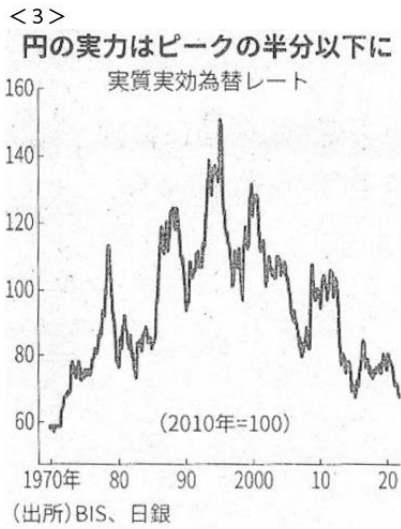
週間国際経済 2022 (5) No.298 02/13~02/22

- 02/13・インド太平洋戦略、米が発表 日米同盟深化迫る 単独で中国阻止、限界
経済枠組み新設急ぐ
- ・仏ロ首脳、対話継続合意 ウクライナ問題 米ロ首脳も協議
米ロとも大使館員退去
- 02/14・米「侵攻に断固対応」 ウクライナと首脳協議 ロシアと溝埋まらず
- ・日米韓「安保協力を推進」 外相会談 5年ぶり共同声明
 - ・日銀、金利抑制策を発動 3年半ぶり「指し値オペ」0.25%以下に
- 02/15・GDP年率5.4%増 10~12月 2期ぶりプラス 昨年通年は1.7%増 <1>
コロナ下回復、米欧に見劣り 1~3月エコノミスト予測、0.3%増に急減速
- ・独、対ロ配慮にじむ ウクライナと首脳会談
- 02/16・半導体販売5000億ドル突破 昨年 世界26%増、出荷数も最高
- 02/17・貿易赤字8年ぶり2兆円兆 1月 過去2番目 原油高で輸入額最高
- ・米、利上げ加速視野 1月議事要旨 FRB、まず来月半ば <2>
 - ・EU、「法の支配」で溝深まる 司法裁判所、資金阻止の根拠認める
ポーランドとハンガリー敗訴 修復見通せず
 - ・金利上昇、財務の重荷に 米低格付け企業、要返済160兆円 借り換え負担警戒
- 02/18・円の実力、50年ぶり低さ 実質実効値 購買力落ち、家計に負担 <3>
企業の資金、日本離れ加速 経常黒字でも円高進まず
- ・消費者物価0.2%上昇 1月 原油・食料が押し上げ 携帯通信料が押し下げ
 - ・安保理会合 米國務長官「冷戦後の平和原則が危機」 ロシアを批判
 - ・首相、水際対策緩和表明 入国5000人枠 外国人狭き門 40万人足止め
 - ・イラン、段階的復帰か 核合意、米と草案で詰め
- 02/19・米LNG能力、年内2割増 欧州「脱ロシア」の柱に 投資3年ぶり再開
- ・独金利上昇、3年ぶり日本上回る 欧州マネー逆流 対日投資に陰り <4>
円債に売り、円安圧力
 - ・G20財務相会議 米欧の金融引締め警戒 経済回復と両立探る <5>
 - ・「米、デジタル通貨最前線に」 FRBブレイナード理事 開発の意義強調
 - ・NY連銀総裁 来月の利上げ「適切」 幅0.5%には慎重姿勢
- 02/20・米大統領「プーチン氏、侵攻決断」緊急外相会合 G7、緊張緩和策要求
- 02/21・米、首脳会談受け入れ 「ロシア侵攻せず」条件 仏ロ、外交交渉を加速
- ・円建て金先物、一時最高値 1年半ぶり リスク回避・円安で
- 02/22・親ロ地域に派兵命令、平和維持を名目 ロシア、独立を承認 <6>
米、親ロ地域に制裁措置 EUも表明 原油価格7年5ヶ月ぶり高値
- ・英、コロナ規制全廃 24日から インフルと扱い同様に



<2>
1月FOMC議事要旨のポイント

まもなく政策金利を引き上げることが適切
2015年からの前回利上げ局面よりペース加速も
「量的引き締め」も前回より速いペースに
将来のMBS売却も視野



<5>
G20声明の骨子

パンデミックの影響に対処するため引き続き全ての利用可能な政策手段を用いる
発生中の地政を巡る緊張など主要なグローバルなリスクを監視
調節され、コミュニケーションの取られた出口戦略への関与を確認
インフレ圧力の高まりは世界経済の見通しに潜在的なリスク
債務の透明性向上に取り組むため、民間債権者を含む全ての関係者による協働の重要性を確認

